

イトーヨーカドーのCSRアクション

認知症サポーター養成講座 本部実施

～誰もが買い物しやすい環境づくりのために～



強矢 健太郎

CSR・SDGs推進部
マネージャー

現在、「超高齢社会」と言われている日本での認知症の方の推定人数は約462万人と、65歳以上の高齢者の約7人に1人が認知症と推計され、軽度認知障害とされる方は約400万人、高齢者の約4人に1人が認知症または予備群となっています。※

イトーヨーカドーでは、店舗でお困りの方の手助けができるよう、店舗の従業員が認知症サポーター養成講座を通じて認知症についての知識、対応方法などを学び、認知サポーターとなれるよう邁進しております。

※2012年現在 厚生労働省老人保健健康増進等事業資料抜粋

また、店舗従業員だけでなく、サービスや商品、売り場作りに活かせるようにイトーヨーカドー本部従業員向けにも認知症サポーター養成講座を11月24日に実施しました。

イトーヨーカドーはこれからも、自治体や各種団体、地域住民との地域連携を図り、安全・安心なまちづくりと、誰もが買い物しやすい環境づくりを進めてまいります。

